

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回白岡市学校給食費改定検討委員会会議
開催日	令和5年10月2日(月)
開催時間	午後3時00分 開会 ・ 午後4時00分 閉会
開催場所	白岡市役所 4階 会議室404
出席者(委員)の氏名	別添「令和5年度白岡市学校給食委員会運営部会委員名簿」のとおり
欠席者(委員)の氏名	別添「令和5年度白岡市学校給食委員会運営部会委員名簿」のとおり
傍聴者数	0名
事務局職員の名	教育部長、教育総務課長、教育総務課学校給食担当主査、教育総務課学校給食担当主任、教育総務課学校給食担当主任栄養士、教育総務課学校給食担当主事
会議次第	別添のとおり
配付資料	別添のとおり
議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
教育総務課長 教育部長 教育総務課長 部 会 長 主 任	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 部会長及び副部会長の選出</p> <p>白岡市学校給食委員会規則第6条第3項の規定により部会長及び副部会長を互選により選出する旨説明し、委員に意見を求めた。</p> <p>委員から事務局一任との意見があったため、慣例により部会長を白岡市小中学校長会長、副会長を給食委員会会長にお願いしている旨説明し、委員に意見を求めた。</p> <p>委員から質疑、異議がなかったため、部会長を菁莪中学校新井校長、副部会長を給食委員会齋藤会長にお願いし、議長に新井部会長を指名した。</p> <p>(2) 学校給食費改定について</p> <p>議事(2)について、事務局に説明を求めた。</p> <p>議事(2)「学校給食費の改定について」を資料P1からP2までに基づき、説明。</p> <p>改定案については、令和5年6月現在の食材費の金額にて</p>

主	任	算出しており、案1と案2の改定金額の差はあまりないが、両案共に物価上昇率を適切に反映させ算出している。また、令和5年10月現在もニュースや新聞などで物価高騰の報道が続いている状況である。事務局では、今後の物価上昇は予想困難であることから、現在把握している食材料費から改定金額を算出する方法で、今般の改定を検討しなければならないと考えている。なお、9月26日付にて送付している意見書取りまとめでは、今後3年ごとに学校給食費の見直しを実施する旨の記載があるが、見直し期間の一例であり、今後も物価上昇により一定間隔で値上げの検討をしなければならないと考えている。現在の状況を踏まえ、学校給食費改定金額について、御意見をいただきたい。	
部	会	議事(1)について、質疑・意見を求めた。	
委	員	A	学校給食は給食費を保護者に負担いただいておりますが、給食費の値上げは大変心苦しいが、給食費のやりくりをしている者からすると大変ありがたい。前回改定が平成27年度だったが、暦や授業日数確保の関係から給食実施回数が増えている。その際に給食費の値上げはなかったため、令和3年度時点ですでに給食費は厳しい状況であった。価格を抑えるため食材を国産から外国産へ変更、食材のマンネリ化などが生じている。給食費を値上げすることにより、新しい食の体験を子どもたちにさせたい。給食費の値上げについては、御負担いただく保護者の意見を反映して決定いただきたい。
部	会	長	令和3年度からすでに厳しい状況であったとのことだが、具体的にはどのような状況であったのか。
委	員	A	国産のとうもろこしを外国産に変更したり、食の体験授業でとうもろこしの皮むき体験やグリーンピースのさや剥き体験などを実施するが、価格高騰のため断念した学校がある。このような状況を加味して金額を決めて欲しい。
委	員	B	食材を安いものに変更しているので、給食を運営するものとしては、給食費の値上げはありがたい。今年度は、給食費補助金として月額900円いただき、給食費を運営しているが、今後の食材価格高騰が未定であり、改定案の金額が補助金より少なく、今後の給食費がやりくりできるか不安である。中学校の肉・魚の値段は小学校より高額になるため、安い食材に変更する可能性がある。数年見通して金額設定いた

委員	B	だきたい。
委員	C	給食費の改定を検討していただけるのはありがたい。改定金額の案については、現在の物価高騰率を基にして算出したとあるが、これは今実施している給食の質を維持するために必要な金額だと思う。補助金月額900円いただけると保護者の負担は増えるが、献立作成側からすると助かる。今後頻繁に値上げができないと考えるとある程度金額を上げて設定していただけるとありがたい。それと同時に給食費を値上げすると給食費の未納が増えることが予想されるので、対応を教育委員会に考えていただけると助かる。
委員	D	現在、小学校3年生の子供が通っているが、家で作れないものを食べられて学校給食が大好きと言っている。家計は苦しくなるが、金額をあげてもおいしい給食を作してほしい。
委員	E	給食現場の先生は本当に大変だったと思う。試行錯誤や工夫をしていただき、心から感謝する。改定案や意見書を拝見し、そこまで真逆な意見はなかったと思う。「やむを得ない」を「納得していないけど理解できる」ような仕組みにすることが大事である。数字的な根拠に関しては説明いただいた通りだと思う。この数字の根拠をどうやって保護者、子どもたちに伝えるかが一番重要であると思う。仕事関係で給食食材を扱っている丸宮食品の社長と話す機会があったが、やはり苦しい状況だと聞いた。他の業者に話を聞いても心苦しいが、値上げしなければやっていけないとの話を聞くと双方のバランスを保つ上では、値上げという言葉ではなく、必要な経費として計上しないと維持できない。給食委員会の中で、「必要な経費」としてこれだけ必要であるという根拠を見せ、伝えるという作業を丁寧にやる必要があると思う。参考に熊谷市の教育委員会から保護者向けに出している資料をインターネットで見た。値上げの話を保護者に資料で渡すと読まない人が多いと思う。カラー刷りで、イラストを使用し、紙配布でなく、ホームページに掲載するなど理解を求めていく活動をしたほうが良いと思う。保護者はインターネットを使うので、そのような手段を提案したい。
委員	F	改定に関してはまったくもって問題ないと思う。先ほど委員の意見で、現在補助金が月額900円あり、補助金の月額金額で学校給食が運営できているという話を伺ったが、補助

<p>委員 F</p>	<p>金は令和5年度のみで、令和6年度に関しては未定である。補助金がなくなったときに、この改定金額で給食の質や量を確保できるかだと思う。久喜市の給食の量は少ないと聞いたが、センター方式のため経費との兼ね合いだと思う。自校式給食が魅力である白岡市は、給食の量と質を維持してほしい。白岡の給食のメニューはバラエティーに富み、他の市町よりもメニューが豪華と認識しており、子供たちは楽しみにしてる。現在、ワンコインでランチが取れない時代であるため、保護者としては値上げといっても、納得していただけると思う。給食費の値上げについてはその都度毎年値上げになるよりかは、1回で大幅に値上げし、向こう何年間は据え置きの状態がキープできる方がいいと思う。小出しに値上げしていくとまた値上げかという感情がどうしても出てくる。値上げは値上げであり、家庭としては厳しくなると思うが、そういった余裕はあった方がいいと思う。</p>
<p>委員 G</p>	<p>やはり食材の値段は上がっているの、スーパーなどに買い物に行っても全部値段は上がっている。給食費の値上げはない方がいいが、それほど抵抗ある人や不満を持つ人はいないと思う。案2の中学校1食あたり326円で、お店で牛乳とパンを買ったらそれだけで使い切るの、そう考えたら全然まだ安い。何回も値上げするよりは、1回で余裕ある値上げをした方がいいと思う。</p>
<p>委員 H</p>	<p>自分は、中学3年生と小学校3年生子どもがおり、給食を食べているので、給食費値上げは物価上昇を考えるとしょうがないと感じる。仕事で都内に通っているが、昔は500円で昼食を食べていたが、今は1,000円する。倍以上も値上がっている状況で給食費を現状のまま維持できないと思う。やはり値上げに関しては、保護者として出費が増えるためきついが、給食費を値上げし、払う金額が増えれば企業の収益になる。企業から払われる賃金としてお金が回れば、我々サラリーマンの賃金が上がっていき、お金が回らなければ、物価の上昇にも対応していけない。物価の上昇に合わせた給食費改定は、経済に関してはプラスに繋がると思う。当然給食費の値上げはやっていかなければいけない部分だと思う。</p>
<p>委員 F</p>	<p>意見書にて給食費の無償化について記述したが、どこまで</p>

委員 F	<p>財源が続くかわからない中、給食の質が落ちるのはよくないと思う。県にも給食費の無償化について伝えたが、それは首長が決めることだと言われた。今県内で給食費を無償化している市町村はいくつあるのか？</p>
教育部長	<p>給食費の無償化をしている市町村は、小規模で子供の数も少なく、子育て世帯の転入支援策として首長の考えで実施している市町村がある。その他にお子さんが3人目は給食費が半額などの支援策をやっている市町村がある。先ほど委員がおっしゃるように無償化というのは、市町村ごと首長の判断となっている。白岡市の首長の考え方は、全国一律で平等に国全体の課題とし、やっていくべきと考えている。国では給食費の無償化について検討を進めるという状況であり、県を通じて実態調査が入っている。全国の状況がわかってから、国が動き出すと思われる。今のところ白岡市としては給食費の無償化という考えはなく、国の動向に合わせて対応していきたい。給食費の無償化を実施している市町村については、後日回答する。</p>
委員 E	<p>案1案2という形で上昇率が、一番説得力がある言葉だと思うが、この数字をうのみにしていいのか。ある程度の余裕は必要ではないか。給食費は頻繁に値上げできないので、変えるなら伝えなければならない。例えば、3年ごとに給食費は改定していくというような言葉も、知らない人がすごく多いため、保護者へ伝え、より白岡市の給食という文化を確立していけばいいのではないか。そこをご検討いただけるとありがたい。</p>
教育総務課長	<p>大幅な値上げについては、確かに給食費を多く徴収すれば、それだけ安定した給食事業ができる。ただし、原則として、年度内で徴収した給食費を使い切る必要があるため、年度内に保護者からいただいた給食費は次年度に持ち越すことはせず、年度内に精算する。今回示した改定金額案は物価上昇と消費者物価指数にて算出したものだが、未来の物価上昇を加味した数字的根拠を示すことが難しいため、前回給食費の改定を検討した平成26年度と同様の比較方法として、一番給食の実施回数が多い6月の献立にて給食費の試算をした。給食費改定についての周知については、7月4日開催した第1回給食委員会会議にて配布したチラシを夏休み明</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>けにすべての保護者に配布している。今後も委員から提案いただいたように見やすい資料でなるべく丁寧に説明したいと考えている。また、3年ごとの給食費改定については、決定事項ではなく、あくまでも事務局の考えであり、今後給食委員会で何年ごとに給食費改定を検討すべきかはかりたいと考えている。</p>
<p>教育部長</p>	<p>改定額の値上げ幅を上げたほうがいいのかという意見はあるか。余裕を持った給食費の具体的な改定金額を示すことが難しいところがある。先ほど委員から使用している食材を国産から外国産へ変更しているとの話があった。今後、国産から外国産に切り替えた食材を国産へ戻した際の食材費の検討を示すことが可能であると考えている。改定案として、小学校1食あたり約30円増、中学校1食あたり約40円増の値上げ幅を示しているが、委員から現在補助している1食あたり50円の値上げ幅にしたいとの意見があったと思う。しかし、ここで1食30円値上げ金額が示されている中、50円に値上げるのはなかなか難しいところもあるため、食材を外国産から国産にして試算するのも一つと考えている。</p>
<p>委員 E</p>	<p>国産のこだわりはすごく大事なので、試算していただきたい。前回の給食委員会会議の資料で食材ごとの価格について記載があったが、食材ごとの価格上昇は、今回の改定案で示した物価上昇率13%を軽く超えている。食材によって金額の上げ幅は違ってくる。それをどこで線引きするか。例えばわかりやすい主食の米、パン等の小麦の価格を抱き合わせた状態で物価上昇率と主食の原材料費を加味し、給食費の値上げの比率を示したほうが、納得してもらえらる資料になると思う。主食や国産の食材の価格を追加で示せば、物価上昇率の数字が闇雲に値上げするのではなく、数字としての裏付けがなされ、バランスが図れるのではないか。白岡市独自の算出方法も作れると思うので、示していただければ、より一層、保護者が理解できると思う。</p>
<p>教育部長</p>	<p>前回の給食委員会会議の資料は、主食がご飯、パン、麺の3本立ての平均で令和3年度と令和5年度の上昇金額が小学校1食あたり45円、中学校では1食あたり58円という資料を示している。ただし、この資料は献立を抜粋しているため、高い数字が出ている。</p>

主 任	<p>今回示した改定案の算出根拠は、1年で最も給食実施回数 の多い6月を抜粋し、1か月分の平均金額を算出している。 献立によっては金額が高い日もあれば、安い日もあるため、 1か月の平均値にて算出すると給食委員会会議で示した抜 粋献立の金額よりも食材費の上昇価格が安くなる算出根拠 となる。</p>
教育総務課長	<p>報道でも、10月から値上げする食品の品目が4,000 品目と報じている。今回示した改定案の物価上昇率は13% だが、報道では、食品の物価上昇率は平均15%と報じられ ており、改定案の金額とかけ離れていない数字と認識して いる。可能であれば、事務局が示した改定金額案で決定いた だき、今後一定の間隔を待って給食費の改定を検討してい き、その際に国産食材などを反映させたいと考えている。</p>
部 会 長	<p>いろいろな御意見をいただいたが、事務局としては、第2 案の小学校4,900円、中学校が5,600円を給食費改 定金額としたい。</p>
委 員 E	<p>確認だが、ここで議決を取ったものが、踏襲されるのか。 その後の議決の流れを説明いただきたい。</p>
教育総務課長	<p>本会議で意見をまとめていただき、委員40名が出席する 給食委員会会議で、本会議で決定いただいた給食費改定金額 案について議題として提出し、給食委員会会議でさらに意見 をいただき、正式に決定する。</p>
委 員 E	<p>本会議で議決をとるが、この議決についての資料をどこま で開示できるか。開示できる範囲で給食委員会会議の前に事 前に資料を配布いただきたい。その場で資料配布してからの 質疑応答は難しいと思うので、配慮をお願いしたい。</p>
部 会 長	<p>学校給食費の改定金額については、第2案の小学校月額 4,900円、中学校月額5,600円とし、第2回学校給 食委員会会議に提出することを決定した。</p>
教育総務課長	<p>全ての議事が終了し、議長を降りる。</p> <p>4 閉会</p> <p>第2回白岡市学校給食委員会会議の日程について、11月 8日(水)を第1希望、11月10日(金)を第2希望で予 定旨を伝え、閉会を宣した。</p>